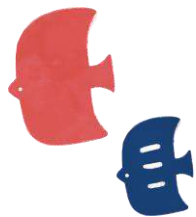


Small world play

4年ほど前から取り組み始めており、子ども達も楽しむ活動になりました。子ども達が家庭でもセンサリープレイの話をしているようで、保護者も関心をもってきている。その為、今年度も引き続きテーマとした。



5月 6月 9月 10月 1月 2月 計6回
毎回テーマ（春、天気、夏、ハロウィン、雪、お菓子）を変更し、3～5コーナー用意した。手が濡れる（水、絵の具など）や、感触を楽しむ（粘土、カラーライスなど）を設定し、毎回遊び方が似ている物を用意した。年齢によっては、カード（問題）を用意して行った。



活動を繰り返し行い、コーナーを複数作る事で、他の活動ですぐに飽きてしまう子も、1時間ちかく集中して遊んでいた。年度の始めは、水を使ったコーナーや、カラーライスのある思いっきり遊べるコーナーが人気だったが、回数を重ねる事で、じっくり遊ぶ、粘土や積み木、マグフォーマー等の、作るコーナーが人気になっていた。1月以降の4・5歳クラスでは、製作コーナーを取り入れたところ、進んで取り組む子が多くいた。



子どもの姿

- ・動物のフィギアを使いながら、その動物になりきって、子ども同士でごっこ遊びを行っていた。
- ・ドーナツやカップケーキ等を作って保育士や友達にふるまっていた。
- ・スロープを組み立て、ポンポンやボールが転がる様子を楽しんでいた。
- ・片付けにも積極的で、パーツの種類別に分けたり、数を数えていた。
- ・保育士が花の種類の問題を出すと、興味を示し、答えたり、本物をじっくり観察していた。

